

県歌「信濃の国」制定50周年 ①

運動会で踊ったり、音楽会で歌ったりする

「信濃の国」。県の歌である県歌に決まっております、今年でちょうど50年！

より「信濃の国」に親しみ、歌ってほしいと思いい、歌詞の意味を紹介します！



運動会のダンスの様子

〈一番〉

信濃の国は十州に
境連ぬる国にして

聳ゆる山はいや高く
流るる川はいや遠し

松本伊那佐久善光寺
四つの平は肥沃の地

海こそなけれ物さわに
万ず足らわぬ事ぞなき

〈歌詞の意味〉

信濃の国は十の国と接しています。

そびえる山はとても高く、流れる川は
とても遠くまで流れていきます。

松本、伊那、佐久、善光寺の四つの盆地
はよく肥えた土地で、

海はないけれども物産が豊かにあつ
て、不足するものはなにもありません。



今は、長野県は八つの県と接しています。昔の十の国
や今の八つの県はどこか、調べてみましょう。
次回は、二番の意味を紹介します。

作成：長野県教育委員会 教学指導課・企画振興部 広報県民課

* 学年だより等でこのまま紹介することも可能です。